

「内外の多様な教育資源を活用したグローバル・リーダー教育の研究開発」



- ① 日本への深い理解、世界に向けた広い視野と高い見識
- ② サイエンスの素養を基盤とした問題発見・解決能力
- ③ コミュニケーション力や国際交渉力を有したグローバル・リーダーの育成・GTECの受験

英語コミュニケーション力を向上させる取り組み

- ・OCPDにおけるScientific Presentationの授業、およびSTEP英検、TOEIC等、外部指標への対応
- ・ALTとのTTによるPresentationとDebateの授業
- ・Practical EnglishにおけるTOEFL受験への対応
- ・STEP英検（3年次全員受験）
- ・GTEC for Students 4技能試験（1・2年次全員受験）

Global Studies III (3年次)

- ・対象：3年次生選択者（H30年度3名）
- ・内容：3年次ではさらに高度な研究が進められるよう指導するとともに、海外の大学への進学を希望する生徒に対する支援のあり方や校内指導体制の研究を進め、海外進学者数の目標を年次10名とする

SGH 課題研究発表会

- H31年3月15日
全体会:英語での口頭発表
- ・Global Studies II
 - ・海外研修報告(ベトナム、オーストラリア、マレーシア)
 - ・Global Studies 特別講座
- 分科会:
・テーマ別ディスカッション

Global Studies II (2年次)

- ・対象：2年次生選択者（H30年度40名）
- ・内容：2年次では、週1回95分のコマを用いて、横浜市立大学、上智大学の支援(指導)を受けながら個人でテーマを設定し、課題研究を行う。また、「海外研修」や本校で実施する「SGH 課題研究発表会」において英語による発表を行う

・H30年度の高大連携活動

5月	課題研究の手法およびテーマ設定について	横浜市大 上智大
9月	GS II 中間発表会	横浜市大 上智大
1月	GS II 最終発表会 ⇒SGH 課題研究発表会	横浜市大 上智大

マレーシア海外研修

- H30年10月22～26日
- ・Kolej Yayasan Saadでの英語ポスター発表(全員)
 - ・プトラ大学での発表(代表)

ほんもの体験 (1・2・3年次)

- ・特にアジアに目を向けた問題発見と解決のための調査研究、発表
- ・国内外の大学、ITTO等の国際機関や研究機関、企業、および横浜市国際局、水道局、資源循環局等、内外の多様な教育資源の活用
- ・サンモールインターナショナルスクールでの短期国内留学など教育連携協定の活用
- ・国内外コンテストでの発表活動経験によるグローバルセンスの涵養
- ・対象：1・2・3年次希望者から校内選考で決定
- ・目的：質の高い課題研究の推進とほんもの体験

Global Studies 特別講座

- ・対象：1・2年次生希望者（H30年度170名）
- ・内容：グローバルスタディーズを学習する上での動機づけ

第1回(6月22日)
SDGsを学び、考える
フェリス学院大学
高柳 彰夫氏

第2回(8月29日)
フクシマの今を科学的に考える
日本医療研究開発機構
越智 小枝氏

第3回(11月3日)
鶴見線でローカルから
グローバルを見よう
鶴見線貸切プロジェクト

第4回(11月21日)
核兵器 戦争と科学者
元日本物理学会会長
小沼 通二氏

第5回(12月20日)
SDGsを中心とした
テーマ別
ディスカッション

第6回(1月18・22日)
テーマに関する
プレゼンテーション
⇒SGH 課題研究発表会

Global Studies I (1年次)

- ・アジアを中心とした地域の環境保護や持続可能な開発に関する課題
- ・SDGs(国連持続可能な開発目標)に関する課題
- ・社会学や経済学、国際ビジネスの観点でグローバルソリューションを探究
- ・外部講師の助言指導も受けて幅広い学習
- ・対象：240名(1年次生全員) ※現代社会の中で実施
- ・目的：研究の基礎
- ・H30年度の活動

6月21日	水、ごみ等、環境問題に関するワークショップ	横浜市各局・Water Aid Japan
6月28日	課題発見・課題解決グループワーク	創価大 宮崎猛氏
8月30日	私たちの世界を救う17の目標	イオトップパブリ(株)

サタデーヒューマンスタディーズ (1年次)

- ・世界規模の課題の現状と解決に向けた取り組みに関する理解
- ・SSHとSGHの融合を視野に入れた、多角的なテーマの設定
- ・自己の使命を自覚し、課題研究への動機づけ
- ・幅広い豊かな人間性と高い倫理性、リーダーシップの涵養
- ・対象：240名(1年次生全員)
- ・目的：視野の拡大と課題設定への動機づけ
- ・H30年度の活動

7月14日	株式会社ユーグレナ CTO 鈴木 健吾氏 「ミドリムシの大量培養と地球規模の問題の解決」
9月8日	上智大学教授 酒井 朗氏「グローバル化と教育」
11月10日	横浜市立大学教授 安川 文朗氏「命の価値 -社会にとって望ましい価値づけの方法とは-」

・SGH 海外研修 (H30年度の活動)

7月	グローバルイシューリンク	シンガポール
9月	ベトナム環境問題調査	ベトナム ダナン市
11月	オーストラリアイマージョン実習	オーストラリア クィーンズランド大学
2月	マレーシア熱帯林調査	マレーシア

・SGH 国内研修 (H30年度の活動)

8月	南三陸ボランティア&ファシリテーター研修
11月	サンモール インターナショナルスクール 国内留学体験
12月	SGH全国高校生フォーラム(有楽町 東京国際フォーラム)
12月	東北大学 SDGs シンポジウム(仙台)
12月	関東・甲信越静地区 SGH 課題研究発表会(立教大学主催)
12月	課題研究発表会(暮合高校)+神戸多文化フィールドワーク
1月	東京多文化バスツアー(東京ジャーミー他)